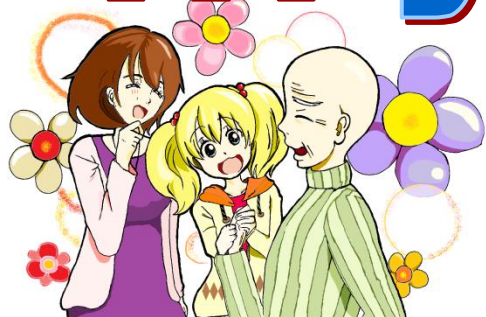


myらいふ

1985. 4. 25～
-142号-

●紙面のご案内●

- 地域が子どもを育てるといふこと (心豊かな青少年を育てる県民のつどい in 鹿沼)
- 「自分らしさ」を植える楽しみ (ハンギング教室)
- おしゃれを楽しもう (地域デビュー講座)
- 開催!!かぬま学びフェスティバル2014
- 子どもたちの瞳が輝いて… (KLVまつり)
- 飛んだ! 飛んだ! 羽ばたき飛行機。(ウィークエンド体験「はばたき飛行機を作って飛ばそう」)
- わくわくパソコンで…手作りカレンダー作り (ウィークエンド体験「パソコンでカレンダーを作ろう!!」)



myらいふは、市民編集員が取材・編集する生涯学習情報誌です。

地域が子どもを育てるといふこと

11月29日(土)鹿沼市民文化センターにて「心豊かな青少年を育てる県民のつどい」が開催されました。雨にもかかわらず多くの人で会場が埋め尽くされた中、第1部式典行事と優秀者2名による作文発表、第2部鹿沼市立東中学校オーケストラ部による素晴らしい演奏に続き、第3部教育改革実践家「藤原和博」さんによる講演へと進みました。

民間会社に勤務後、区立中学校の校長を務め、3人のお子様の出産に立ち会い、フランスでは助産師が間に合わず自らお子さんを取り上げたというユニークな経歴と貴重な経験をお持ちの藤原さんが提言するのは「今大切にしたいナナメの関係」です。



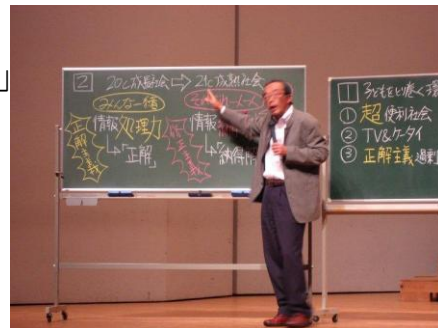
スクリーンや黒板を使って講演する藤原氏

ナナメの関係で人は育つ



携帯電話の普及に代表される超便利社会に生まれ育つ今の子どもたちは、従来の「みんな同じ幸せ」＝「正解」を求めるのではなく、一人一人が自ら幸福観を作りそれを周りとりあわせて自分も周囲も「納得」することが求められているということや、成長社会から成熟社会へ移行した今、おとなも頭を柔らかくしていかないと社会の変化から取り残されるのだということ、黒板やロールプレイングという手法を使って参加者に楽しくわかりやすく説明されました。

そんな今どきの子どもたちが成長するカギとなるのは経験豊かな地域の人との交流。地域の人は、親や先生とのタテの関係、友人とのヨコの間を強くする「スジカイ」の役割をすることです。力強い講師の言葉が心に響く大変内容の濃いつどいでありました。



教育改革実践家
藤原和博氏

東京大学卒業後大手企業入社。後に東京都で義務教育初の民間人校長となる。大阪府知事特別顧問を務め、平成26年から武雄市特別顧問になる。

各種講演会や、法律番組、討論番組、教育番組等テレビの出演も多い。

「自分らしさ」を植える楽しみ

ハンギング教室（つるす鉢植え）が11月23日（日）鹿沼市花木センターで行われました。講師はハンギングバスケットマスターの園辺征子さんで、参加者は女性5名でした。この講座は花に親しむことを目的として行われ、「街の花飾り」の推進を目指しているそうです。確かに道端に花が植えてあると心がほっと和むような気がします。

作業は1番重要なバスケットの高さに合わせてスポンジを5枚入れることから取り組みます。バスケットの内側にスポンジを貼る作業、それが難しいそうです。講師のアドバイスを受け、皆さん真剣そのものでした。時季と飾る場所によって花をかえるそうですが、今回は、ビオラ、ハボタン、ヘデラ、パロータを使い、花と葉の組み合わせを楽しみながら作品を作りあげていきます。あいだあいだに花を植えていき、脇の土落しをして新しい土を花と花の間に入れていきます。卵型になるように花を重ねていきます。

参加者は「植えたばかりは納得がいかないけれど、しばらくたつと花が上を向いてくる」と言っていて、自然の力を感じます。何かひとつ「これを入れよう」と思ったら、その花の色を使っていきます。「自分らしさ」が出て、素敵だなと感じました。

これらは春先まで花の色の移り変わりを楽しめます。特にビオラは色も豊富で楽しめるそうです。

参加者は「花の他にも葉を入れるのが楽しい」「自分で花を選ぶことは難しいので勉強になりました」と皆さん満足そうに話していました。



おしゃれを楽しもう

★中高年の服選びのコツ★

若い子の服が着た〜い

加齢による体型変化や年齢を上手に受け入れ、今現在の自分に合う服をさがしましょう。



似合う服がわからないの

自分の体型を知りましょう。プラスポイント、マイナスポイントを再確認しましょう。



長くもつ服って高いのよね〜

流行も変わります。2〜3年着られる事を目安に選びましょう。

着回し考えるのって面倒

セットで着回しが出来る服を、数点持つだけでも手軽におしゃれを楽しめます。



11月12日（水）鹿沼市民情報センターで行われた、地域デビュー講座の2回目「おしゃれを楽しもう」の取材に行ってきました。講師は福田屋百貨店商品部の増山敏之さんでした。内容は、生き生きと素敵に暮らすための普段着ファッションについての講座で、参加者は11名でした。

冬の主役でもあるコート、ブルゾンなど様々なデザインのアウターを用いて、色々なコートの歴史、由来、特性、加工について、またここ数年のダウンの進化や今期の流行色やデザインについてのお話がありました。さらに小物（バッグ、靴、マフラー、ストールなど）の上手な使い方やコーディネートも実践で教えていただきました。インナーで差し色を取り込んだり、反対色を合わせるなどもアクセントになるそうです。

ファッションを楽しむ事は、日常の生活の心の支えにもなります。幾つかの自分にあったコーディネートを持っておくことで普段から楽におしゃれが楽しめるとの事。

参加者からは、「とても参考になりました！」「お店に伺った時もコーディネートなど適切なアドバイスが欲しい！」などの感想が出ていました。



かめま学びフェスティバル

かめま生涯学習大学の講座等で学ぶ方々が、実演や作品展示で日頃の成果を市民に広く発表できる発表会です。かめま生涯学習大学、鹿沼市教育委員会、鹿沼市、かめま・マイカレッジの共催で平成18年から毎年行われています。

10月18日(土)、19日(日)の2日間、市民情報センター、文化活動交流館等で「かめま学びフェスティバル2014」が開催されました。2日間とも晴天に恵まれたおかげで来場者も多く、1階の実演スペース前はダンスやミュージカル、楽器の演奏などの観客で溢れており、各会場も展示作品を鑑賞する人々や、講座を体験している人々で賑わっていました。また屋外では、けんちん汁、焼きそば、ホットドッグ、コーヒーなどが販売され、お腹をすかせた来場者の方々も満足そうでした。来場者には家族が参加しているという小学生も多く、おばあちゃんのおよそいを見たり、お母さんのお花の展示を見たり、星座カードを作成したり、スタンプラリーをしたりと、それぞれとても楽しんでいる様子でした。「中高年の人が元気に色々やっていることが素晴らしかった」、「今やっていることをもっとのびたい」という感想も多くあり、生涯学習の楽しさ、学習の意欲を向上させる結果につながった「かめま学びフェスティバル2014」。来場した皆さんは自分の“学び”が見つかったのではないのでしょうか。



KLV (カフー) っぴょんに?

鹿沼ライブラリーボランティアです。鹿沼市の全小中学校にあり、読み聞かせや紙芝居、本の補修、新刊本の受け入れなどを行っています。

子どもたちの瞳が輝いて...

11月29日(土)鹿沼市立図書館で「KLVまつり」が開催されました。鹿沼図書館ボランティア(KLV)の皆さんによるお話し会は毎年大人気。今年で19回目を迎えます。

朝から冷たい雨が降りしきる中、70名余りの親子が視聴覚室に集まり、会場はとても賑わっていました。本日のプログラムは、大型絵本や大型紙芝居、エプロンシアターにパネルシアターと盛りだくさん。「だるまさんシリーズ」では、キーボードと太鼓の音に合わせて体を左右に揺り動かす子どもたちの姿がとても微笑ましく、「いろいろおんせん」では、色とりどりの大きな布が子どもたちを包み込んで大はしゃぎ。



エプロンシアター「金のがちょう」の時には、エプロンのポケットから次々と登場人物が現れる様子を目を輝かせて見つめていました。

空き時間には折り紙や紙ふうせんで遊び、終始子どもたちの笑顔で会場が満たされていました。

参加者の皆さんは、「エプロンシアターやパネルシアターは物語の世界をより楽しく表現しておとなでも楽しめた」「たくさんのお友達と一緒に楽しい時間を過ごすことができてよかった」と笑顔で話してくれました。

子どもたちを幸せなおとぎの国へ連れて行ってくれる「KLVまつり」にぜひ足を運んでみてください。



パネルシアター

大きなパネルやエプロンがお話しの舞台に！子どもたちは夢中です!!

エプロンシアター



ウィークエンド体験

生涯学習課主催で、多くの知識や経験を持つ地域の中高年・ボランティアの方々の協力を得て実施しています。いろいろな経験と楽しい遊びの時間を・・・子供たちに！

飛んだ！飛んだ！羽ばたき飛行機

まるで鳥のように、翼を上下に羽ばたきながら飛ぶ模型飛行機。その「羽ばたき飛行機」を作って飛ばす「ウィークエンド体験・羽ばたき飛行機を作って飛ばそう」が11月29日（土）に文化活動交流館・多目的創作工房室で開催されました。参加した子どもたちは小学1～5年生の男女6名ずつ計12名。



講師は今までも竹トンボや燻製の作り方などを指導されてきた鈴木さん、神山さん、大橋さんの熟練3人組です。

元気にあいさつをしてさっそく工作開始。小学生にはちょっとむずかしい部分は、あらかじめ講師の方々が作り置きしてあるので、子どもたちはまずマーカーで翼やフレームに絵柄を描く作業から始めました。星や花、丸や三角、ストライプなど思い思いのカタチを赤、青、黄色と塗り分けていきます。



約30分後、おおむね仕上がって次の工程は、尾翼を取付け動力ゴムをセットして巻きます。これでほぼ完成。全長約35cm、両翼幅約45cmの機体は羽をばたつかせ、今にも飛び立ちそうな気配です。そしていよいよ大空に向けて飛ばそうという場面でしたが、あいにく外は雨が本降りになり、館内のロビーで飛ばすことになりました。

1年生から順番に飛ばし始めると、パタパタと鳥のように飛ぶ姿に子どもたちの歓声が上がります。高さ4mほどの天井までゆうに届き、距離も15m以上と予想以上に良く飛びました。今回は広い場所で飛ばすことはできませんでしたが、子どもたちはきっと、大空高く

飛ぶ羽ばたき飛行機の姿を思い描いていたことでしょう。



パソコンで手作り！カレンダー

12月6日（土）市民情報センターにて、ウィークエンド体験「パソコンでカレンダーを作ろう!!」が開催されました。講師は市民サークル「step by step」の方々3名で、参加者は9名の小学生です。この講座では魅力あるカレンダーを作成しパソコンの楽しさとわくわく感を味わい、また同じ興味を持つお友達と交流することができます。

初めに「よろしくお願ひします」と子どもたちの元気な挨拶が教室中に響きます。先生方は一人一人に笑顔とやさしいまなざしで丁寧に教えていました。講座が始まると早くも子どもたちはパソコン画面にくぎづけになりました。映画、ゲーム、アニメの人気キャラクターが映し出されたのでみんなの目はキラキラと輝いていました。まだ6歳の男の子も興味津々で、楽しそうにパソコンを操作していました。

それぞれ、自分の好きなキャラクターをカレンダーに貼り付け、自分の名前を入力します。わからなくて困っていると先生が一人一人やさしく教えるので、笑顔が弾けて楽しい時間となりました。最後に思い思いに作成したカレンダーを手にし、大きな声で「ありがとうございました」と挨拶をしました。子どもたちからは「とても楽しかった」との声が多く聞かれました。

小さいうちからいろいろなものに触れ体験することで感受性豊かなおとなになるのだらうと思いました。



作業楽しくっていっぱい

たいへん良くできました



編集後記

藤沼清美



私は去年の夏から野菜作りを楽しんでいます。最初は「うまくできるのかしら」と不安でしたが、作ってみると意外とできるものでたくさんの収穫がありました。太陽の光を浴びた野菜はとてもおいしいです。自分で野菜を作ってみて、自然の恵みの大切さを改めて感じました。

●編集員：半川龍生・福井公美子・介川恭子・瀧田祐三・津久井圭子・西本恭子・藤沼清美